

## インターバンクの声（2017年11月7日）

11月に入ってから円相場は、何度か113円台中盤付近まで円高が進む局面があったものの、114円台で取引される時間がほとんどで、昨晚のように113円台で取引される時間が長引くと、ずいぶんドルが下がったような気がする。東京市場だけでなく、ロンドン、ニューヨーク市場でも目立った材料はなく、米金利の低下からドルの上値が重くはなっていたが、114円台前半での値動きが暫く続くと思われた。

ところが、小幅ながらニューヨーク市場の昼前頃から円買い・ドル売りに動き始めた。久々に「世界の火薬庫」と呼ばれる中東からのきな臭いニュースが立て続けに聞こえ始めたことが影響しているようだ。サウジアラビアのムハンマド皇太子が率いる汚職対策委員会が王族や現職閣僚らの摘発を進めたことが、金融市場への混乱を招きつつある。5日にサウジアラビアの王子ら当局者数人を乗せたヘリコプターが墜落したのも、汚職に絡んだ摘発から逃れるためだったとの説もある。イスラム教の宗派對立によって断交したイランとサウジアラビアにイエメンやレバノンなども複雑に絡み、混乱が拡大すれば原油価格にも影響するだけに、中東情勢の行方も年末に向けての相場材料に加わる可能性もありそうだ。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。